

# 公園内で見られる植物

写真は1月13日（日）  
自然観察会で見られた  
植物です



ハハコグサ (キク科)

春の七草の一つで、オギョウとも呼ばれる。



チチコグサ (キク科)

ハハコグサに対してつけられた。



ホトケノザ (シソ科)

春の七草のホトケノザはキク科のコオニタビラコのことである。



ハコベ (ナデシコ科)

春の七草のひとつとし七種ななぐさがゆに入れたり、小鳥の餌としてもおなじみ。



オオイヌノフグリ (ゴマノハグサ科)

路傍や畑の畦道などによく見られ、早春からコバルト色の花を咲かせる。春の訪れを感じさせる植物。



アセビ (ツツジ科)

馬が食べると酔ったようになるので、馬酔木 (アケビ) と書いた。花 / 2月下旬～5月



シナマンサク (マンサク科)

なはなは 数個ずつ集まってつく。香りがいい。



コブシ (モクレン科)

長い軟毛におおわれた花芽



クロモジ (クスノキ科)

冬芽／葉芽は長さ1～1.5 ㍍の紡錘形。基部にまるい花芽がつく。



トキリマメ (マメ科)

赤く熟すと2つに割れ、黒くて光沢のある種子が顔をだす。